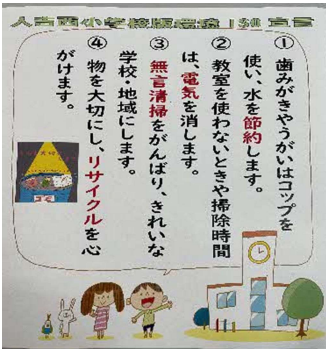
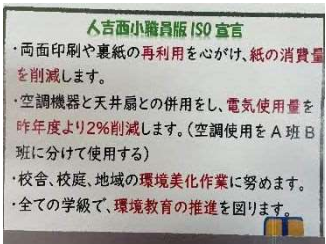






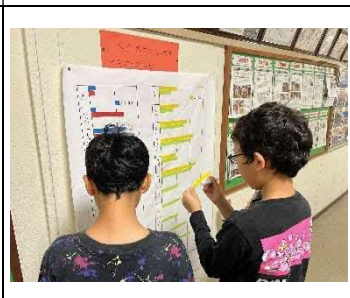
令和6年度（2024年度）学校版環境ISOへの取組

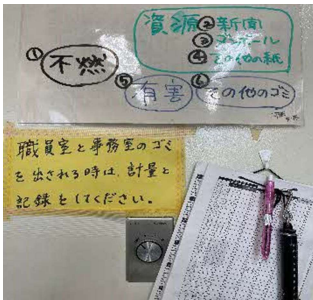
< 学校名：人吉市立人吉西小学校 >

2 取組の概要報告

(1) 取組の概要

項目	活動の様子（写真）	取組の実際												
宣言	<p style="text-align: center;">児童用</p>  <p style="text-align: center;">職員用</p> 	<p>学校全体で行う取組として、「人吉西小環境ISO宣言」を作成し、各学年棟の掲示板に宣言項目を掲示して行動を呼びかけたり、各委員会を中心に取組を行ったりした。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">人吉西小学校版環境ISO宣言</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 歯みがきやうがいはコップを使い、水を節約します。 2 教室を使わないときや掃除時間は、電気を消します。 3 無言清掃をがんばり、きれいな学校・地域にします。 4 物を大切にし、リサイクルを心がけます。 </div> <p>例年にしたが、4つの視点から職員の宣言項目を設定した。宣言項目は次のとおりである。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><職員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・両面印刷や裏紙の再利用を心がけ、紙の消費量を削減します。 ・空調機器と天井扇との併用をし、電気使用量を昨年度より2%削減します。（空調使用をA班B班に分けて使用する） ・校舎、校庭、地域の環境美化作業に努めます。 ・全ての学級で、環境教育の推進を図ります。 </div>												
行動	  <table border="1" data-bbox="300 1693 627 1899"> <thead> <tr> <th>2学期12月</th> <th>重点掃除場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10(火)</td> <td>教室・ホールの床の拭き掃除 [トイレ掃除]</td> </tr> <tr> <td>12(木)</td> <td>靴箱、ベランダ、渡り廊下、手洗い場等水回り</td> </tr> <tr> <td>17(火)</td> <td>窓や扉のさん、黒板の溝 [トイレ掃除]</td> </tr> <tr> <td>19(木)</td> <td>ロッカー、たなの</td> </tr> <tr> <td>23(月)</td> <td>机や椅子の脚の</td> </tr> </tbody> </table> 	2学期12月	重点掃除場所	10(火)	教室・ホールの床の拭き掃除 [トイレ掃除]	12(木)	靴箱、ベランダ、渡り廊下、手洗い場等水回り	17(火)	窓や扉のさん、黒板の溝 [トイレ掃除]	19(木)	ロッカー、たなの	23(月)	机や椅子の脚の	<p><児童></p> <p>「人吉西小環境ISO宣言」に応じて、各学級で取り組んだり、各委員会で活動を考えて取り組んだりした。取組の内容は、次のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 <u>歯みがきやうがいはコップを使い、水を節約します</u> 水の節約として、歯磨きやうがいをするときにはコップ1杯の水で行い、掃除のときはバケツを使用して雑巾を洗うようにした。水を出しっぱなしにしないことを意識し、習慣化を図っている。また、習字の筆は、各自ペットボトルを活用し、汚れた水は土に返すようにした。 2 <u>教室を使わないときは、エアコンや電気を消します</u> 各学級で、教室を出るときには電気・天井扇のスイッチを切るようにした。また、昼休みや掃除時間、冬場でも気温の上昇する昼間は、無理のない範囲でエアコンの電源を切り、電気も消すようにした。 3 <u>無言清掃をがんばり、きれいな学校にします</u> 本校では、学期末の5日間程度を「大掃除旬間」と設定している。児童の意欲の向上と清掃技術の定着を目指し、美化委員会を中心に取組を行った。（重点場所を設定し、放課後委員会でチェックを行い、自分たちで作ったキャラクターで結果を知らせた。） 高学年の朝のボランティアでは、校庭の落ち葉集めなど自主的活動を行い、委員会で昼の放送などで紹介を行った。特に、5月のクリーン作戦では、学校周辺の落ち葉集めやゴミ拾いを
2学期12月	重点掃除場所													
10(火)	教室・ホールの床の拭き掃除 [トイレ掃除]													
12(木)	靴箱、ベランダ、渡り廊下、手洗い場等水回り													
17(火)	窓や扉のさん、黒板の溝 [トイレ掃除]													
19(木)	ロッカー、たなの													
23(月)	机や椅子の脚の													

	<p>行い、12月の隣接校(球磨工業高校)合同クリーン作戦では、村山台地を中心に清掃を行うなど、地域に貢献する活動も進めた。</p> <p>「日頃、お世話になっている地域を自分たちの手できれいにしよう」という目標のもと、高校生と交流をしながら意欲的に励んでいた。</p> <p>本校は、村山台地と呼ばれる小高い山の上に学校があり、校庭にはシンボルのイチョウの木が植えられている。秋には、黄色い絨毯のように落ち葉がたくさんあり、高学年を中心に登校してきた児童から、落ち葉を掃いていた。それが、日頃のボランティアとしてやっぴいこうということにつながった。</p> <p>園芸委員会による花の栽培や、全校児童でフラワー活動など環境美化活動に取り組んだ。</p> <p>4 物を大切にし、リサイクルを心がけます</p> <p>I S Oボランティア委員会を中心に、ペットボトルキャップの回収を行った。各教室に回収用のケースを設置し、毎週木曜日に「リサイクルデー」と称して、I S Oボランティア委員がボランティア教室で各クラスの当番が持ってくるのを待ち、計量する取組である。この取組では、昼の放送で回収を呼びかけている。また、回収したペットボトルキャップがどのように役立っているのか、回収の目的を分かりやすく知らせるように掲示を行った。</p> <p>〈職員〉</p> <p>例年通り、印刷室にボックスを設置し、用紙のリサイクルを行っており、裏紙の再利用を進めた。また、ゴミは計量し記入した後に回収に出すようにした。</p> <p>昨年、人吉市内で導入されたグループウェアシステムを、本校では全職員が積極的に活用し、会議資料や研修の資料は情報端末で見ることを推奨し、ペーパーレス化を積極的に進めた。</p>
<p>記録</p> 	<p>〈児童〉 毎月の水道使用量・電気使用量のグラフ化</p> <p>I S Oボランティア委員会で学校の毎月の水道使用量と電気使用量の推移をグラフ化し、校内に掲示した。前年度の使用量と比較できるように、色を変えて記入した。これから昨年度との使用量増減の原因を考え、無駄づかいを減らす具体的な取組を考え提案できた。</p>

		<p>〈職員〉グループウェアシステムで報告 水道や電気の使用量、紙類購入量は、事務主査を中心にデータ管理を行った。毎月の使用量は全職員で回覧して使用量の現状を共通理解し、節電節水の意識化を図った。 特に冬場の暖房については職員室内に大型扇風機をサーキュレーターとして使用するなど、暖気の循環を図って暖房の効果を冷暖房の効果を高めるようにした。</p>
見直し		<ul style="list-style-type: none"> ・冷暖房の節約については、教室増や物価高騰もあり、金額的に高くなってきている。そこで、冷暖房をつける時間を1時間あげ、電力量を押さえるために2つの班に分け、使用するようにした。今後、感染症予防のための換気や、健康維持のための適切な温度管理などの両立を図りながら無理のない範囲で進めていく必要がある。 ・ペットボトルキャップは順調に集まり、12月には200kgを達成することができた。今後も家庭等への呼びかけを行い、回収を図りたい。 ・紙の使用量については、職員朝会が減り校務支援やグループウェアシステムで連絡しあうことが多くなり、その分の紙の消費は減っていると思われる。しかし、児童に配布する物は紙が主になるので比較しにくいところである。

(2) 成果と課題

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・ISOボランティア委員会の児童が中心になって企画し、節電・節水の呼びかけやペットボトルキャップ集めなどを行うことで、児童の意欲は高まった。 ・ペットボトルキャップ集めは、数年前から継続して行っているのので、家庭にも周知されており、地域の方などたくさんの協力が得られた。 ・栽培委員会や高学年の児童による花苗植えや、早朝ボランティアによる落ち葉かきなどが積極的に行われていた。校庭の緑化、美化など身近な環境を良くしようという意識が高まっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集めたキャップを洗う中で、ペットボトルキャップでないものが混じっているのを見つけ分別した。家庭でも自分で分別して資源とごみを分けることができる力につなげたい。 ・紙購入量は昨年同様で職員も、印刷の際の裏紙の使用や、会議等の資料をデータで共有するなど、紙の使用量を抑える取組を行っている。しかし、印刷時のミスによる紙使用の無駄も見られる。印刷ミスを減らすためのチェックを行うことや裏紙使用を更に増やしていくことなど、紙の使用量を減らすための取組について、職員の意識を高めていく必要がある。